

「情報メディアの活用」を担当して

毛井寿彦

今年から学校図書館司書教諭講義要綱の改定によって「情報メディアの活用」が新規開講された。この講義の担当をした関係から、この講義のねらいや講義内容等講義を進める上での調査・研究、教材の収集等を行い、講座構築を進め実際に講義を行ってみたいの反省を含めて考えてみたい。

〔講義のねらい〕

- ① 現代社会に存在する各種情報メディアの種類と役割
- ② 学校教育が導入している情報メディアの現状および活用の実体
- ③ 学校図書館で生かせる情報メディア
- ④ 学校教育現場におけるコンピュータリテラシー、情報リテラシーの現状と活用
- ⑤ 各種データベースとその検索方法
- ⑥ 学校図書館メディアと著作権の関係

〔講義内容〕

1. 高度情報化社会と人間（情報とメディア） 講義の導入および進め方
 - ① 工業化社会から情報化社会へ
 - ② 情報とメディア マルチメディア（音や映像や文字を一体化して扱えるもの）
 - ③ 情報の概念・歴史的変遷
 - ④ 情報メディアの歴史・変遷 コンピュータ パソコン CD-ROM 携帯電話
電子手帳 通信 ネットワーク …
 - ⑤ 科学技術の進歩とニューメディア（使いやすいことが課題）
2. 学校教育における情報メディア
 - ① 学校教育における情報メディアの意義
 - ② 情報メディアセンターとしての学校図書館
 - ③ 学校図書館メディアセンターとしての全学的環境設定
事務処理の合理化
学校教育に寄与する専門的業務のできる学校図書館
モデルの実現条件
3. 情報メディアの種類と特性
 - ① 視聴覚メディア 学習スペース パッケージシステム 音響メディア
映像メディア 情報メディア
 - ② 電子化メディア CD-ROM MO DVD
4. 情報メディアの流通と生産、選択、収集、情報源
 - ① 情報伝達の方法の変遷
 - ② 情報メディア産業の構造と役割
5. 情報メディア導入の環境設定
 - ① 機器導入の環境設定、稼働体制の確保

- ② 機器備品の管理、維持、保守、更新
- 6. 視聴覚メディアの活用
 - ① 視覚メディア（写真、絵葉書、絵画、ポスター、紙芝居等）
 - ② 映像メディア（ビデオテープ、レーザーディスク、スライド、映画フィルム、OHP）
 - ③ 音声メディア（録音ディスク、レコード盤、録音テープ、録音カセット等）
 - ④ 教育・学習等における事例紹介（学校図書館、教室、生徒会活動、各種行事等）
- 7. コンピュータリテラシー教育
 - ① ハードウェアと周辺機器
 - ② ソフトウェアの評価、選定
- 8. 情報リテラシー教育
 - ① 情報検索の意義、目的
 - ② 情報検索における件名、シソーラス、キーワード
- 9. 情報とデータベース
 - ① データベースの種類
 - ② データベースの特性と利用法
- 10. データベース検索の実際
 - ① オンラインによるデータベース検索
 - ② オンディスクによるデータベース検索
- 11. インターネットによるデータベース検索
 - ① インターネットの仕組み
 - ② インターネットの普及とインパクト
 - ③ インターネットの特性と利用法
 - ④ インターネットによる新しい問題点
- 12. ～14. 機器の操作、実技指導、検索演習
- 15. 学校図書館メディアと著作権
 - ① 知的所有権の概念、意義、種類
 - ② 著作権法の概要
 - ③ 情報モラル

上記の内容について講義を中心に進めていった。本来なら実物を持ち出してできるだけ多くの実習や演習を取り入れたほうが効果的であると思われる。しかし、そのような実習室を準備することは不可能であろう。自分の過去の体験からできるだけ紹介しながら成果をあげていこうと努力した。教材もないので毎回プリントを準備してすすめていった。評価は進路に応じて数回、課題を課して提出させた。一応理解されたものと思っている。今年は初年度であったため、他の科目との読み替えが認められたので履修人数が少なく、理解度に応じた教材を準備することができたと思う。しかし満足の行くものではなかったと反省している。来年度に向けて教材の見直しが必要であろう。

(けい・としひこ 短期大学部商経科講師)